



一 誠



HPのQRコード

■■ 学校の教育目標 ■■

- よく考え進んで学ぶ子
- 明るく心の豊かな子
- じょうぶでたくましい子

令和6年10月31日

持続可能なPTA活動を考える

～北海道PTA連合会研究大会に参加して～

校長 佐藤 裕哉

10月19日(土)、20日(日)に、全道各地から800名程が集まって行われた、第71回日本PTA北海道ブロック研究大会 石狩管内・千歳大会に、新ひだか町PTA連合会を代表し、参加してまいりました。私の参加した分科会は「持続可能なPTA活動を考える」という協議の柱で、札幌市や余市町、江差町などの代表の方々との小グループで交流・協議をしてきました。

その小グループ内の他地域の話を知っていると、PTAの各活動が、任意参加、またはボランティア参加を中心とする学校が増えてきているということがわかりました。ある学校では、本校のように4月に各学級から決められた人数を部員として選出するのではなく、その都度できる人を募集し、その集まった人数でできることを行うようにしているそうです。

他には、やりたいことを提案する

「発起人方式(発起人は最低5名以上)」を採用し、発起人が提案した企画を役員会で承認し、必要あれば予算を付けて取り組んでもらっているという学校もありました。

どちらの学校も「**やりたい人(できる人)が集まっているので、負担感はなく、活動も主体的・意欲的で活発になっている**」というのが共通点です。



このように、本校においても、持続可能で活発なPTA活動をどのように実現していくのかということこそそろそろ検討する時期にきているのではないかと考えます。

保護者の皆様にとっても我々職員にとっても、大きな負担感なく、かつ有意義なPTA活動となるように、次年度以降に向けたよりよい組織体制について、役員をはじめとする会員の皆様とともに検討していきたいと考えております。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



お知らせ

- 遅刻・欠席などの連絡につきましては、引き続きさくら連絡網にてお願いいたします。なお、**病気などの場合につきましては、可能な限り症状を具体的に記入してください。**全校的な傾向の把握や注意喚起に役立てることが出来ます。みなさまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。
- 登下校時の正門前での乗降につきましては、10月14日にさくら連絡網を通じてお知らせしたところですが、下記のとおり再度お願いいたします。

登下校時、自家用車等による児童の送迎の際に、正門前の道道に停車して児童を乗降させている方が多くみられ、近隣の住民などから苦情が寄せられております。交通量が多く危険であること、また円滑な交通の妨げとなっていることからおやめください。

なお、こうせい児童館横の駐車場には、高静小学校保護者優先スペースが設けられておりますのでご利用ください。

みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

